

協議経過報告書

令和4年3月

野田市議会 建設委員会

協議経過報告書

はじめに

建設委員会では、連続立体交差事業及び高架下の有効活用をテーマに掲げ、議員力向上を目的に勉強会を実施し議員間討議を重ねて参りました。

7回に及ぶ勉強会では、高架下有効活用に主眼を置き、広い高架下面積を有する野田市駅の有効活用について討議を進めて参りましたが、ご承知のとおり、高架下については、敷地所有者である鉄道事業者による利用計画があり、また、駅周辺整備についても今後、土地所有者の皆様の意向を踏まえた施設建設、管理運営が行われていくことになると思われます。当委員会といたしましても、将来の街づくりに大きく役立つ事業と考えており、あわせて、市民の皆様にとって、利便性の向上、そしてにぎわいのある街づくりの推進に向けて、整備が進められることを期待しております。

そのような状況ではありますが、当委員会といたしましては、どのような施設があれば「にぎわいのある街」が生まれるのか、また、駅利用者を含めた市民の利便性の向上につながるのか、さらには、そのために市としてできる支援策はないのか、という思いから、各委員からの積極的な意見やアイデアをもとに協議を進めてきました。

これらを実現するためには、公共利用にあたっての費用対効果やニーズ調査などあらゆる角度から検証を行うとともに鉄道事業者の意向を確認していく必要があると思います。今後、鉄道事業者をはじめとした関係者による利用計画策定等の協議が進められていく中で、少しでも参考になればとの思いから、当委員会が取りまとめた現時点での協議経過報告書について、ご一読していただき、今後の進展の一助になれば幸いと存じます。

① 野田市駅の高架下空間において活用が考えられる施設のアイデアについて

公共の用に供する施設
<p>◇駅舎部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所を合わせた地域の特産品売り場 ・人のにぎわいを創出する際に必要とされる改札手前の公衆トイレ <p>◇一般部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅両側への自転車等駐車場 ・防災倉庫 ・公園
その他の施設
<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店 (具体例)喫茶店、カフェ、飲み屋、パン屋、スイーツショップ ・多目的利用スペース (具体例)貸し会議室、ワークショップスペース、シェアオフィス、シェアキッチン ・チャレンジショップ ・コンビニエンスストア、書店 ・シェアサイクル、シェアカー

② 施設の設置場所と整備の優先度や希望度について

公共の用に供する施設
<p>◇駅舎部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も望ましい場所として野田市駅の自由通路右側(3,170 m²)、次に野田市駅左側(3,000 m²)のスペースの活用を図りたい ・どのような施設をどこに設置するかは、高架下だけではなく駅前広場も含めて全体的に考えていくべきである ・公共利用が可能な面積は最大限利用を図りたい <p>◇一般部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田市駅と愛宕駅の間で線路の除去により道路が繋がった場所の活用を図りたい ・隣接する鉄道用地を含めながら有効利用を図りたい
その他
<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいを崩さないため、駅前広場に面した部分への整備が望ましい ・駅を利用する人の導線を妨げずに入りやすい場所に整備するのが望ましい ・にぎわいを創出できる飲食系の施設の誘致を図りたい

③ 民間事業者主体で整備する施設の誘致促進のための支援策について

支援策

- ・ 鉄道事業者との協議の下に、民間事業者が事業を展開する場合は、市が主体となりプロポーザル的な方式を導入し、募集の取りまとめを行っていただきたい
- ・ 民間企業が参入しやすいような協議体制を構築していただきたい